

サーバ保守限定サポート

第 1.2 版

2026 年 3 月 23 日改訂

株式会社ミライコミュニケーションネットワーク

【改訂履歴】

本書の改訂履歴は以下の通りです。

日付	改版理由	変更箇所	版数
2024/07/22	初版発行		第 1.0 版
2024/10/9	「サーバ保守期間とライフサイクル図」を追加	P3 「サーバ保守期間とライフサイクル図」	第 1.1 版
2026/03/23	改訂履歴を追加	P2 改訂履歴追加	第 1.2 版
	サポート終了 OS の記載削除	P3 「下記(*2)に該当する OS」 および「*2」表記を削除	
	図表の改訂	P4 「サーバ保守期間とライフサイクル図」を「サーバ保守期間」とした	

(1) サーバ保守範囲について

マネージドサービスまたはミライマネージドサービスは、「提供ポリシー」に示される EOL 以降はサポート内容につき以下のとおり変更されます。

	マネージドサービス*1 ミライマネージドサービス*1	EOL 以降
リソース追加		
vCPU	○	対応不可
メモリ	○	対応不可
ストレージ	○	対応不可
仮想 NIC	○	対応不可
物理ポート	○	対応不可
グローバル IP アドレス	○	対応不可
マネージドサービス		
コマンド実行	○	○
各ミドルウェアへのアクセス数、接続数の調整	○	○
新たな領域・DB の追加	○	対応不可
ドメインの追加	○	対応不可
アクセス許可 IP 設定・変更	○	○
SSL 証明書更新	○*2	有償証明書のみ対応*3
サーバ再起動	○	○
監視サービス	○	○
バックアップの取得	○	○
故障時のイメージバックアップからのデータ復元	○	△*4
アップデート	○	対応不可
管理画面提供	○	保守は行いません

*** 1**

Red Hat Enterprise Linux OSにてLife Cycle Supportをご契約のお客様は、マネージドサービスまたはミライマネージドサービスとなります。

*** 2**

SSL 証明書の仕様変更に伴い、サポート内容が変更される可能性があります。予めご了承ください。

*** 3**

ミドルウェアのアップデートが必要な場合は、有償証明書であっても対応できない場合があります。予めご了承ください。

*** 4**

バックアップからのデータ復元ができないと当社が判断した場合、その時点でサービス提供を終了させていただきます。

(2) データ復旧およびサービス終了について

EOL を過ぎた OS、ミドルウェアに不具合や故障が発生し復旧できない場合や、ご契約サーバを起因として本サービス用設備等の利用・運営に支障を与える事象が発生した場合には、その時点でサービス終了となります。その際にデータ損失等で生じた損失につき、直接的間接的を問わず当社は一切の責めを負いません。予めご了承ください。

(3) サービス利用期間

保守限定サポート期限が到来しますと、サービスサーバは自動解約となります。 期限の到来前にマネージドサービスまたはミライマネージドサービスの範囲となるサービスサーバへの移行を行なってください。

参考：サーバ保守期間

種類とバージョン	EOL	保守限定サポート期限
CentOS 7	2026 年 3 月 31 日	2027 年 3 月 31 日
CentOS Stream 8	2026 年 3 月 31 日	2027 年 3 月 31 日
Red Hat Enterprise Linux 7	2026 年 3 月 31 日	2027 年 3 月 31 日
AlmaLinux 8	2029 年 5 月 31 日	(2031 年 5 月 31 日)
Red Hat Enterprise Linux 8	2029 年 5 月 31 日	(2031 年 5 月 31 日)
AlmaLinux 9	2032 年 5 月 31 日	(2034 年 5 月 31 日)
Red Hat Enterprise Linux 9	2032 年 5 月 31 日	(2034 年 5 月 31 日)